

科目名 (科目コード)	子ども家庭支援の心理学 【1348】	配当年次	2	担当教員	児玉 陽子 高岡 忍	対象 区分	すべて	—	—
		単位数	1				—	—	—
授業の ねらい	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期体験の重要性や発達課題について理解する。また、子どもが育つ場としての家庭・家族の意義や機能について理解するとともに、子育てで家庭を取り巻く社会状況と課題について理解し考察する。								
授業の 計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育・教育相談支援の意義と目的</li> <li>2. 保育・教育相談支援に必要な技術と方法1 —子どもの理解—</li> <li>3. 保育・教育相談支援に必要な技術と方法2 —保護者支援の姿勢—</li> <li>4. 支援技術の展開</li> <li>5. 障がいや虐待への対応</li> <li>6. 相談支援の実際1</li> <li>7. 相談支援の実際2</li> <li>8. 生涯発達の心理学1</li> <li>9. 生涯発達の心理学2</li> <li>10. 子どもが育つ場としての家庭とその機能</li> <li>11. 子育てを取り巻く社会的状況</li> <li>12. 多様な家族の理解と配慮を要する家庭への支援</li> <li>13. 子どもの精神保健とその課題</li> <li>14. ケース研究</li> <li>15. まとめ 保育者に必要な家庭支援のあり方とは</li> </ol>								
教科書	使用しない								
参考資料	保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領								
持参物	筆記用具								
評価方法	授業の最終時にまとめの課題を行い、それを評価対象とする。								